

事業所防災リーダー通信2023 Vol.18

事業所防災リーダーに向けて、防災知識や防災に関するお知らせ等を定期的に発信します。



水不足に陥ったときのために

地震等による災害でライフラインが断絶され、断水を余儀なくされた場合等、水が使えなくなったときのことを想定して、給水支援や、水の保管方法等を確認しましょう。

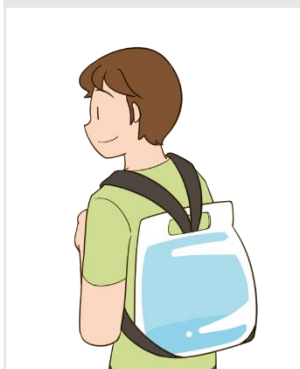
水の運び方

災害により断水が起こると、災害時給水ステーションが開設され、大人一人が1日に必要な飲料水である3リットルが給水されます。市区町村の給水車や、派遣要請された自衛隊の給水車等により、給水支援が行われることもあります。給水支援を受けるためには、水を入れる清潔な容器が必要となります。

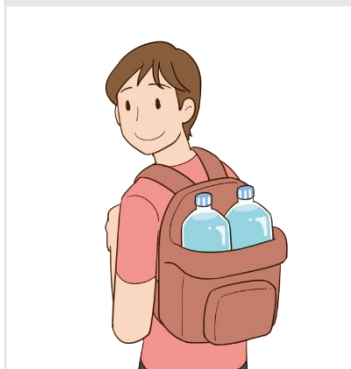
容器がなければ、段ボールにポリ袋をかぶせることで清潔に水を運ぶことができます。

段ボールの底面と側面は、ガムテープ等の粘着テープで補強しましょう。

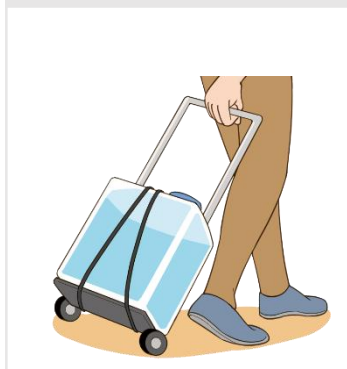
背負える給水袋



リュックサック
+
空のペットボトル等



清潔なポリタンク
+
キャリーカート



段ボール
+
ポリ袋



水の保管方法

飲料水としての保存

直射日光を避けて保存することで、3日は飲料水として使うことができます。

浄水器を通した水は塩素も除去されているので、保存には向きません。

その日のうちに飲みましょう。

生活用水としての保存

浴槽に水を溜めておくことで、およそ180リットルの水が保存できます。

洗濯、掃除等の生活用水として使用可能です。

東京都からのお知らせ

東京都では令和5年8月4日に東京都・足立区合同帰宅困難者対策訓練を実施します。この訓練に合わせて、**事業所防災リーダーの方々に地震を想定した訓練メール・LINEを送信**します。この機会に災害時に受信する情報のイメージをつかんでおきましょう。また、訓練当日（4日）7：00-23：00は**災害用伝言ダイヤル（171）と災害用伝言版の体験利用**ができます。災害時の安否確認方法についても併せて確認しましょう。

使い方はコチラ → [災害用伝言ダイヤル（171）](#) [災害用伝言版（Web171）](#)